

A photograph of a white ceramic bowl filled with white rice, placed on a woven bamboo tray. In the background, there are several stalks of rice. The text is overlaid on the left side of the image.

SANSHIN GROUP  
Monthly Report on the ESG  
May.2025

# INDEX

1. TOP MESSAGE
2. グループ社員による今月のつぶやき
3. ESG Report（品質）
4. ESG Report（環境）
5. ESG Report（地域貢献とワーク・ライフ・バランス）
6. サンシングループの経営理念とCSR
7. 経営戦略体系と管理会計のかかわり
8. サンシングループの社会的責任
9. サンシングループの企業行動基準
10. サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ
11. 未来形から問題を解決するソウレンホウ

# TOP MESSAGE

近年、中国の経済成長が鈍化、及び自動車業界をはじめとする中国市場環境の大きな変化を受けて、多くの日系企業しかり、中国LOCAL企業もまた困難な状況に直面しております。最近では、中国企業の性能も長年に渡り日系企業のOEM/EMS等の仕事を通して、かなりのKNOW-HOWが蓄積されており、今までのような安かろう、悪かろうではないBETTERな製品を市場に投入し、日系企業にとっても驚異となっています。中国では、ほぼ全ての業種が現時点、存在しており、QCDで篩にかけられ業種間で淘汰され、倒産に追い込まれる中国LOCALメーカーも多々見られます。日本の場合は、その篩の目が細かく、中国はまだ日本と比べ目が荒いのかもかもしれませんが、篩の目が細かいユーザーには、まだサンシングループとしては、商機はあり、我々としては、サンコン、高見山で売上増加を目指しつつ並行して、部品開発も進めていきたいと思えます。

三新電気香港有限公司  
代表取締役総経理 兼 C.O.O.  
新井 晶

# グループ社員による今月のつぶやき

## SANSHINEast

今年4月、日本各地で夏日が記録され、地球温暖化の影響が身近に感じられるようになってきました。こうした気候変動への対応として、企業では再生可能エネルギーの導入や脱炭素の取り組みが進められています。私たちも省エネや資源の再利用を意識し、持続可能な社会の実現に貢献していきたいものです。(Y.Y.)

## SANSHIN Hong Kong

毎週農産物取引市場で野菜を買った時、店主はビニール袋で野菜を詰めていました、将来は農産物貿易市場でも可分解紙袋を利用すること信じています。現在も一部の人はカートを利用しています、このように省力化すると同時にビニール袋を節約することができます。人々の環境保護の意識もますます高くなってきました。(Y.Q.)

## CSI

セブのフルーツ、黄色のマンゴーが敷地内に有り、とても大きな木でシーズンになると50個以上のマンゴーが実っていました。数年前の台風でマンゴーの木が倒れ今は無くなりました。横に電気供給トランス用と電線が有りましたが、触れる事も無く倒れた事を、グリーンマンゴーが実っている木を見ながら思い出しました。(K.S.)

## SANSHINWest

「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマにEXPO2025として20年ぶりに日本で開催される国際博覧会が始まっています。世界各国がアイデアを発信しあい、日本で世界の文化に触れることができる貴重な機会です。進化している技術も多く体感できるため現地やニュースなどでも楽しみましょう。(Y.A.)

## SHINKOWA

先日、千葉県多古町の道の駅に行ってきました、お米が売ってればいいなと思いましたが、2kg以上のお米が無かったので、1kg/1080円の多古米を買ってきました。高いか？安い？安いものを求め過ぎかもしれませんが、適正な値段での販売とも思えます。豊作で安泰な食生活ができますようになればと思っています。(M.N.)

## SC2

【安全第一】こもった車の二オイ、気になりますよね。解決のために消臭剤を...と思っている人はちょっと待って。修理工場に持ち込まれる事故車の9割に、きつい二オイの消臭剤がついているそうです。工場の方がお客様に「これ、つけないほうがいいですよ...」と耳打ちしたとか。無害無臭の消臭剤を選び、安全運転をこころがけましょう。(M.I.)

# ESG Report (品質)

# サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

# 品質への取り組み

## 要因分析

<品質管理の基本である5M>  
Material (材料)、Machine (製造機械)、Method (製造方法)、  
Man (担当者)、Measurement (計測)

## 段取り

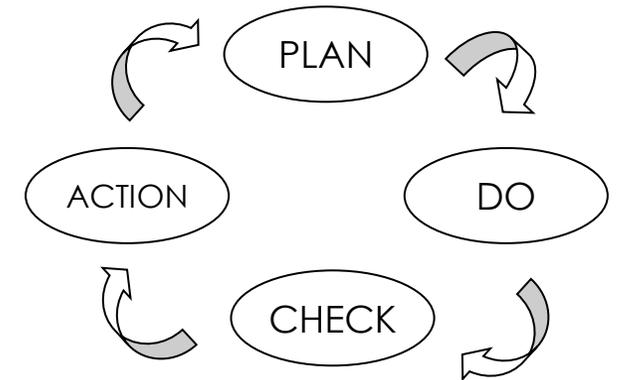
<仕事の段取り5W3H>  
5W : When (いつ)、Where (どこで)、Who (だれが)、What (なにを)、Why (なぜ)  
3H : How (どのように)、How much (いくら)、How many (どのくらい)

## 行動

<製造の基本である3現主義>  
現場、現実、現物

## 管理

<品質管理の基本はロット管理と変更管理>



- EMS先との継続的な品質会議の実施。(1回/隔月)
- 定期監査の実施。(1回/1年程度)

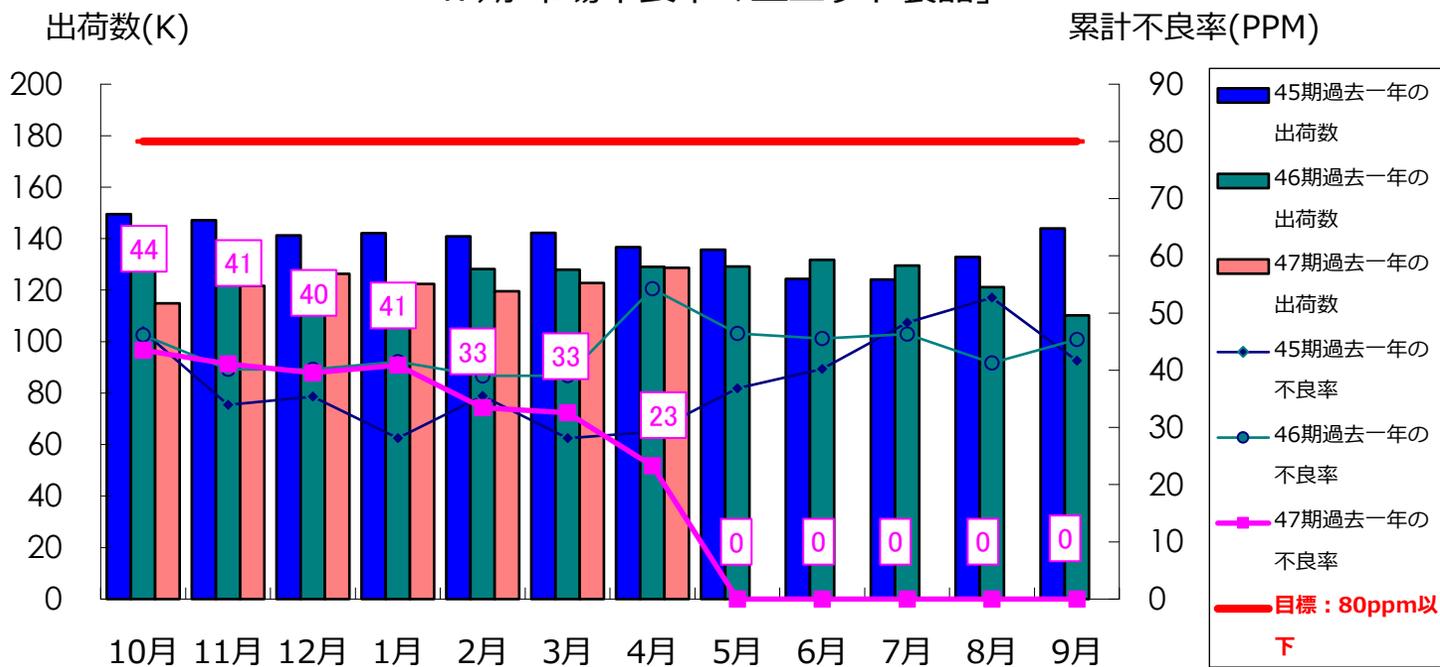
\* 最も大事なのが、継続させるための「**個人の意志**」である。

# 品質状況

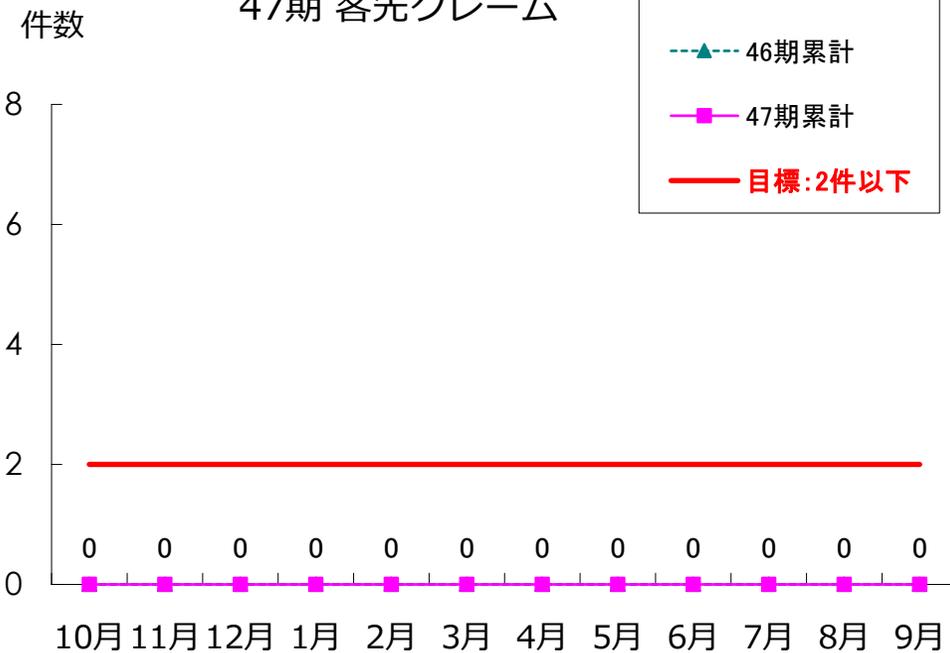
納入品不良率 (目標 : 80ppm)  
 47期の累計不良率(解析依頼含む) : 23ppm

客先クレーム (目標 : 2件以下) : 0件

### 47期 市場不良率「ユニット製品」



### 47期 客先クレーム



# ESG Report (環境)

# TOPICS

## □ 世界のラッピング事情と日本の課題

### 1. 世界のラッピング文化と環境意識の変化

贈り物の包装は世界各国で文化的背景を持ちますが、近年ではその“あり方”が大きく見直されつつあります。特に、使い捨て包装による環境負荷への懸念が高まり、「持続可能なラッピング」への関心が急速に拡大しています。

#### ■ 欧州（例：ドイツ、フランス）

ドイツでは容器包装リサイクル法（VerpackG）に基づき、過剰包装の抑制やリサイクル義務が厳格に運用されており、包装材の回収率は70%以上（ドイツ連邦環境庁, 2022年）。フランスでは2022年からプラスチック包装の段階的廃止が進行中で、2040年までに「完全な脱プラ包装」を目標としています。

#### ■ 米国

Amazonが推進する「Frustration-Free Packaging」では、段ボール削減や過剰包装の排除によって、2008年から累計20万トン以上の包装廃棄物削減に成功（Amazon Sustainability Report, 2022年）。

#### ■ アジア（例：中国、韓国）

中国では「2025年までに全国の都市で使い捨てプラスチック包装を全面的に規制する」政策が進行中。韓国もスーパーでのレジ袋使用を全面禁止するなど、法制度化が進展しています。世界全体のトレンド世界のサステナブル包装市場は2022年に約3,100億ドル（約45兆円）規模で、2030年には5,183億ドルに成長するとの予測（Fortune Business Insights, 2023年）。

贈り物を包むという行為は、世界中で人々の気持ちを表す大切な手段のひとつです。しかしその一方で、使い捨ての包装資材が環境に与える影響も年々無視できないものとなってきました。環境配慮は、贈り物に込める「心」そのものの新たな表現になりつつあるのです。

# TOPICS

## 2. 日本の「美しい包装」とその落とし穴

一方で、日本ではラッピングに対する価値観が大きく異なります。「贈る気持ちを丁寧に包む」ことは、日本の文化に深く根付いた美德です。贈答用の菓子やギフトには何重もの包装が施され、手提げ袋までもが整っているのが一般的です。おもてなし文化の延長として、相手を思いやる気持ちが丁寧なラッピングという形で表現されているのです。しかし、こうした文化の裏側には、環境への負荷という大きな課題が隠れています。

### ■包装資材の使用状況

日本のプラスチック廃棄量は年間約843万トン（2021年度、環境省）。そのうち、容器包装由来の廃棄物は約500万トンで、全体の約60%を占めます。

### ■国民1人あたりの容器包装

プラ消費量日本人1人あたりの容器包装プラスチック消費量は年間32kgで、世界第2位（OECD, 2022年）。過剰包装の具体例百貨店ギフトの「二重包装」や、菓子箱の中の個包装・装飾袋など、一つの商品に対し複数の包装素材が使われるのが一般的。

### ■リサイクル困難な実態

紙とプラスチックが一体化した包装は分別が困難で、実質的に焼却処分されるケースが多い。その際にCO<sub>2</sub>が発生し、温室効果ガスの増加に寄与してしまいます。

日本では、プラスチック廃棄物の年間発生量が800万トンを超えており、その約6割は包装資材に由来しています。多くが一度限りで廃棄され、しかも紙とプラスチックが混ざった包装材はリサイクルが困難です。さらに、焼却によるCO<sub>2</sub>排出や海洋プラスチック問題も深刻さを増しています。また、リユース可能な素材が身近にあっても、日常的に再利用する文化はまだ十分には広がっていません。包装が「丁寧であるほど良い」という固定観念が、変化への壁になっているのかもしれない。

# TOPICS

## 3. これからのラッピングに必要な視点

これからのラッピングには「心」と「環境」を両立させる新しい発想が求められています。

### ✓ 企業による具体的な取り組み

■ 無印良品：2020年より、ギフト包装を紙素材の簡易仕様に変更。プラスチック包装の使用量を年間50トン削減（良品計画CSRレポート、2022年）。

■ 高島屋・三越伊勢丹など百貨店：風呂敷・巾着袋を有料で提供し、再利用可能なラッピング文化を提案。  
地方自治体の例（京都市）：風呂敷の貸出サービスを導入し、1年間で約12万件のプラスチック包装削減に貢献。

### ✓ 消費者への提案と意識改革

■ 調査結果（環境省）によると、「過剰包装を減らすべき」と考える消費者は全体の68%。

■ SNSでは「再利用ラッピング」や「新聞紙+麻ひも」など、創造的かつサステナブルな方法が話題に。

日本のラッピング文化は美しく繊細ですが、今後は環境配慮と共存する新しい価値観を取り入れることが求められています。  
「簡素さの中に心を込める」——そんな新しいスタイルの贈り方が、サステナブルな未来を形作っていくのではないのでしょうか。

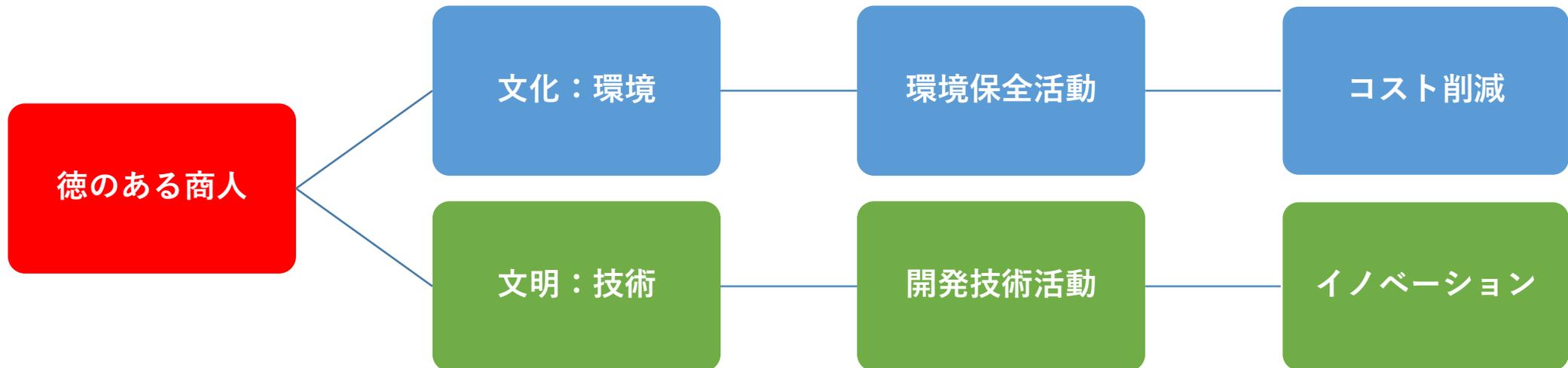
# サンシングループ環境経営への歩み

# 1. 環境経営の基本マインド

\* サンシングループ経営理念

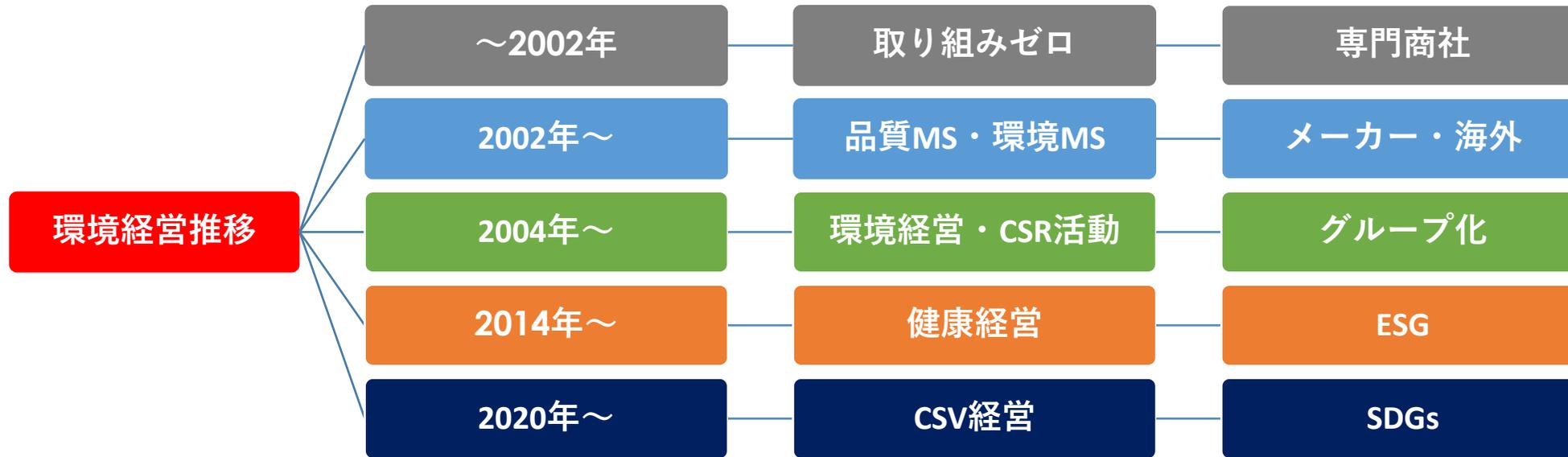
私たちは お客様を愛し お客様から愛される

徳のある商人を目指す：世界の文化・文明発展のために



## 2. 環境への取り組み

### 2002年から現在までの経緯



## 2. 環境への取り組み

～2002年

環境対応はコスト増の要因であり取り組む必要はないという認識。

2002年～

専門商社から海外商社，メーカーへと展開するなかで**環境MSを整備**。

2004年～

グループ企業体の発足に伴い**経営理念**を創設。 **CSRを能動的に展開**。

2014年～

**健康経営**を標ぼう，以後，東京都認定。

2020年～

**CSV経営**を宣言， **ESGとSDGs**を重視。

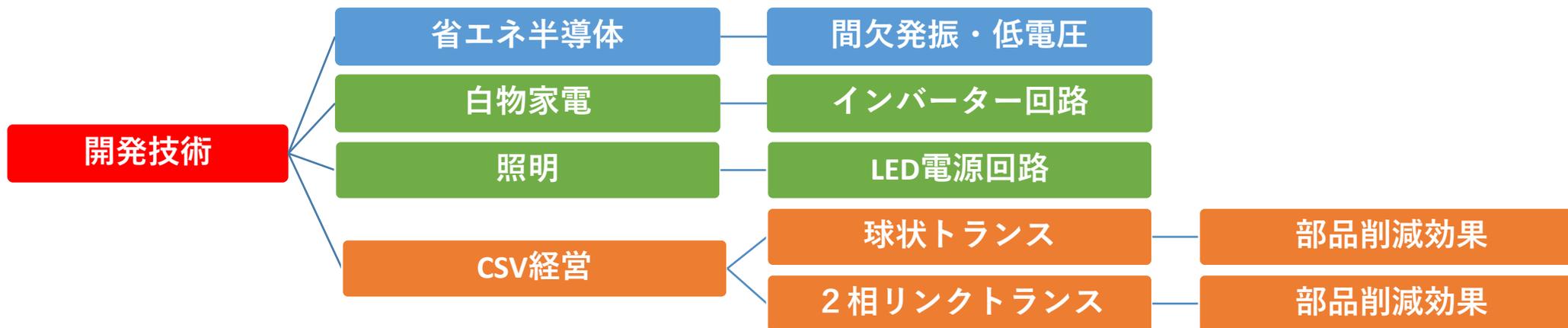
### 3. コスト削減実績

- **紙/ゴミ/電気**, 三種の神器, 徹底削減の継続
  - **テレワーク**による電気/交通費削減
  - 環境MS監査費用は増加（リアルコスト）
  - 環境活動時間は増加（バーチャルコスト）
  - コスト削減費用と増加費用の差額をマネジメント
- ⇒グループで年間約4,000万円※のコスト削減を実現！

※2004年度対比

## 4. イノベーション事例

- ・ 環境保全の開発技術ビジネス



## 4. イノベーション事例

省エネ半導体

専門商社として拡販

白物家電

白物家電向け**インバーター回路**の設計

照明

**LED照明用**の回路設計および電源製造

CSV経営

環境保全を鑑みた電子部品を**自主開発**

**環境とイノベーションを結び付けた技術開発**

**CSV経営 モノ×コト = 価値創造**

## 5. Scopeの対応

- Scope 1：該当なし
- Scope 2：電気排出量のみ（J/C/P合計）  
『ESGレポート』掲載
- Scope 3：該当事項のみ集計
  - 4：輸送配送
  - 5：廃棄物
  - 6：出張交通費（旅費除く）
  - 7：従業員交通費

## 6. まとめ

- ほとんどのSME他社が取り組んでいない項目だからこそ「進取の精神」で取り組みます！
- 事業活動の中で可能な小さいことからコツコツ継続します！
- 環境保全活動はコスト削減とイノベーションのきっかけになります！
- サンシンググループはこれからもサステイナブル企業としてサステイナブルな社会のために環境保全活動に取り組みます！



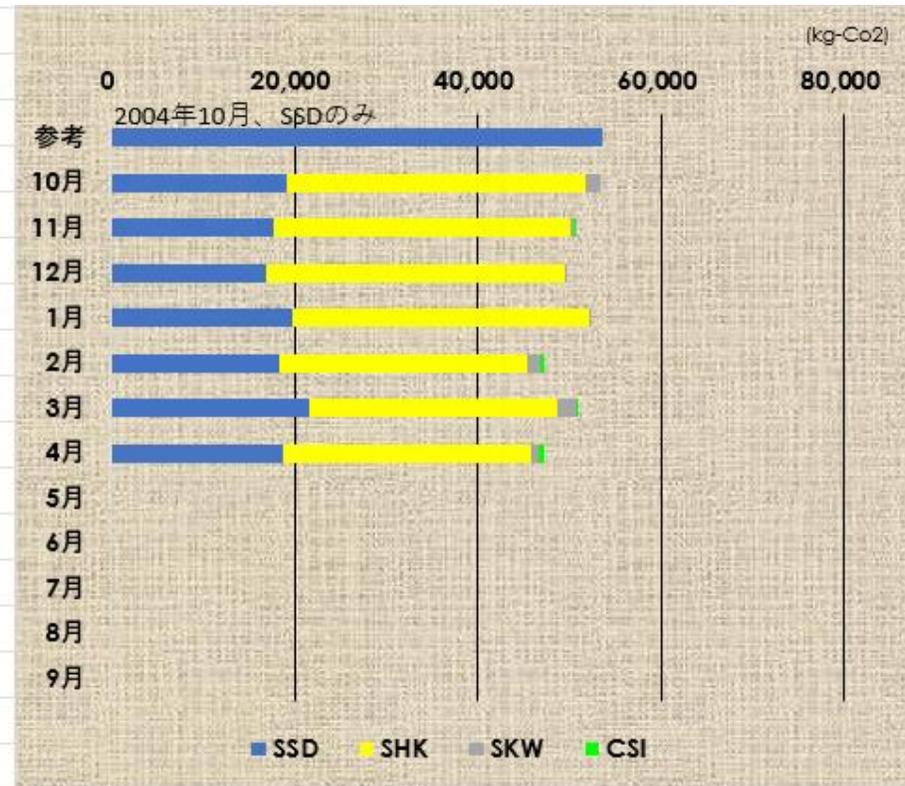
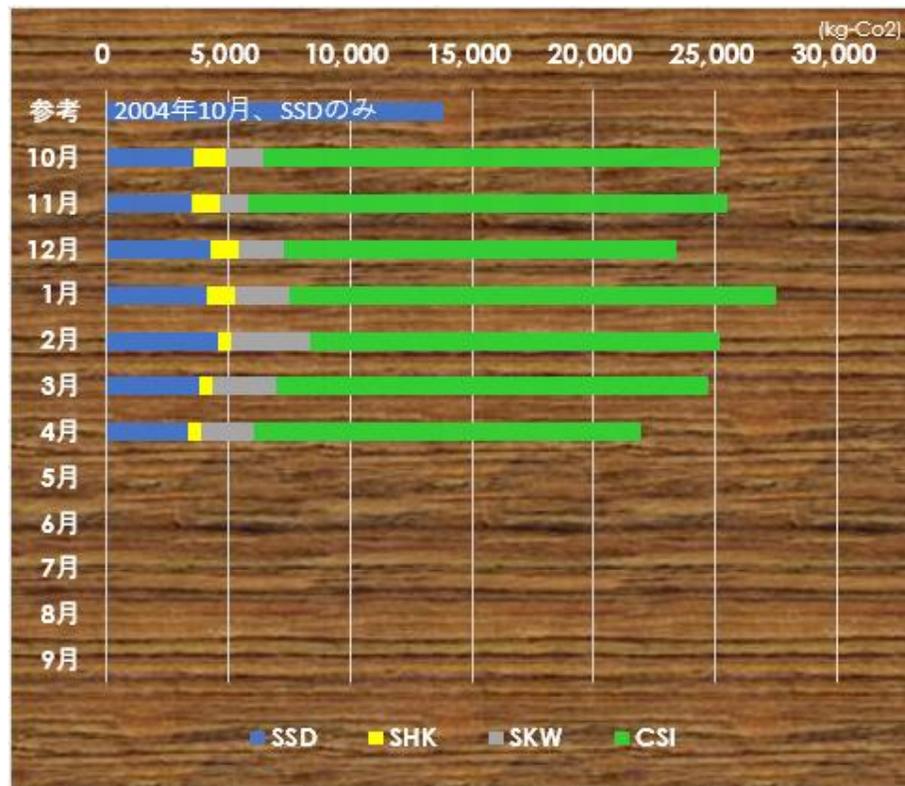
# 活動報告

- ① サプライチェーン排出量
- ② 廃棄物排出量
- ③ 電力使用量

# SSGサプライチェーン排出量

サンシングループではサプライチェーン排出量前年比▲5%に取り組んでいます

- Scope 1：該当なし
- Scope 2（他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出）
- Scope 3（事業者の活動に関連する他社の排出）

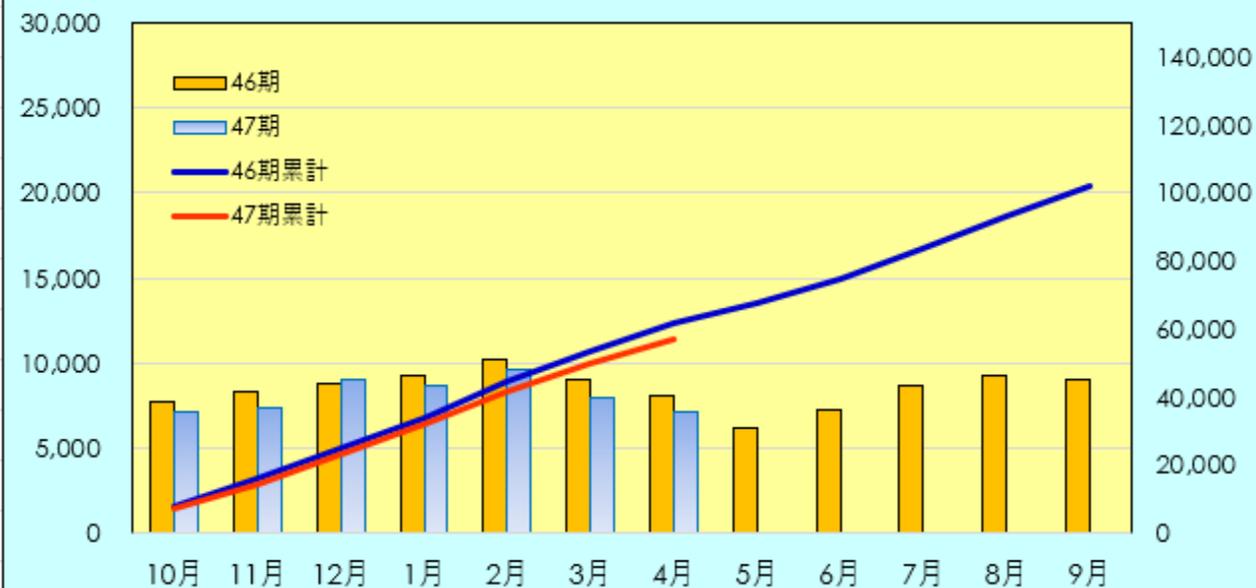




### 電力使用量 (SSD/本社)

月次/棒グラフ(kwh)

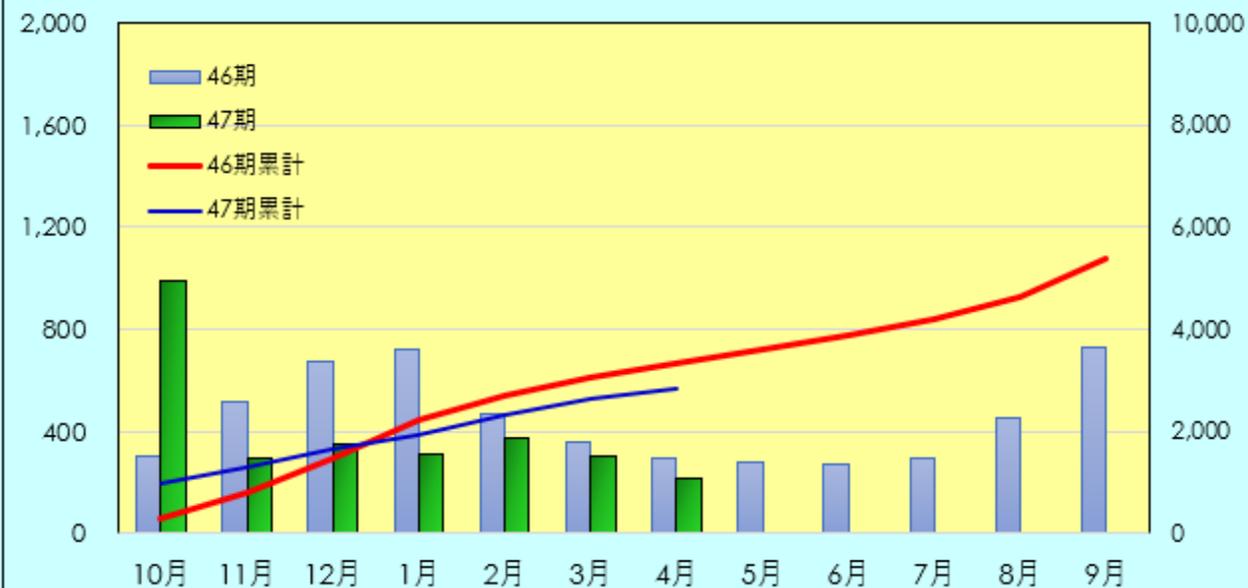
累計/棒折れ線(kwh)



### 電力使用量 (SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ(kwh)

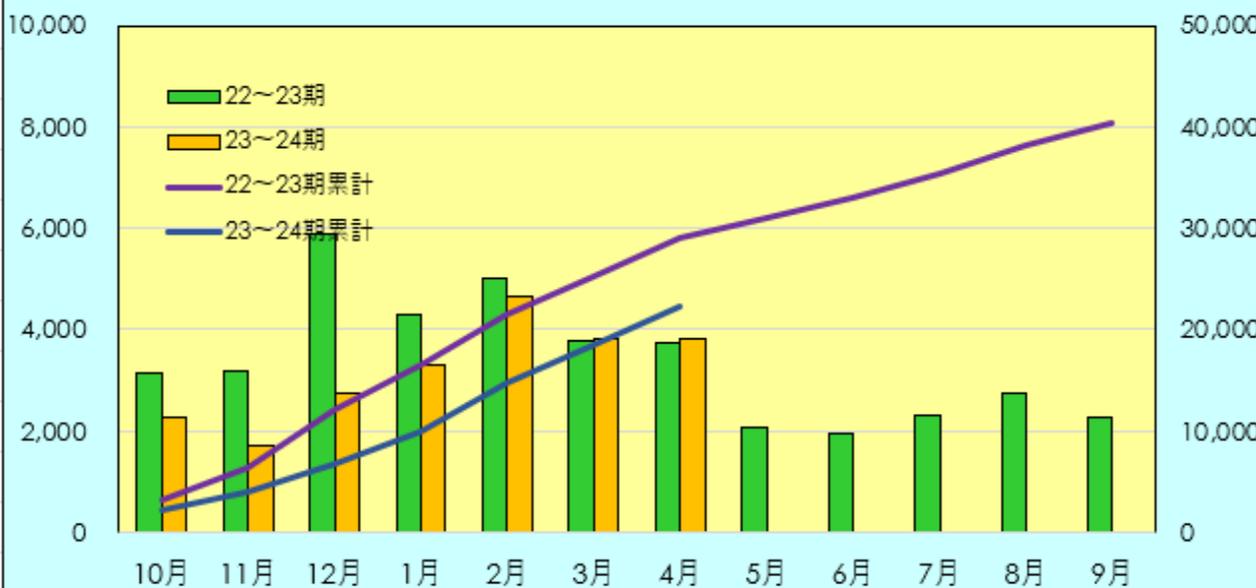
累計/棒折れ線(kwh)



### 電力使用量 (SKW/朝日工場)

月次/棒グラフ(kwh)

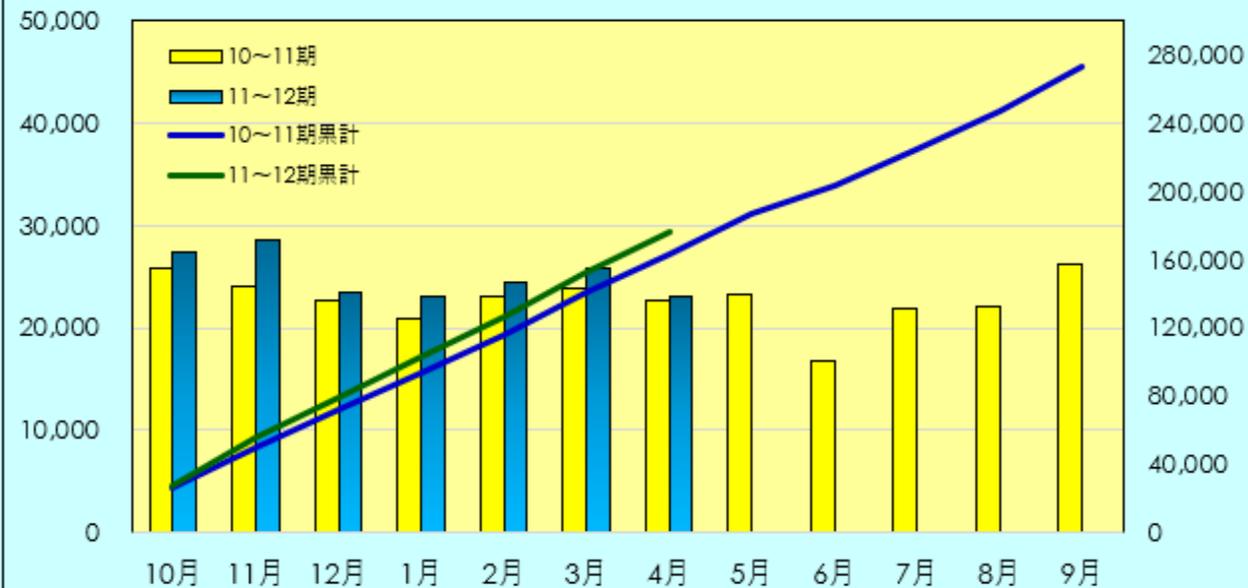
累計/棒折れ線(kwh)



### 電力使用量 (CSI)

月次/棒グラフ(kwh)

累計/棒折れ線(kwh)

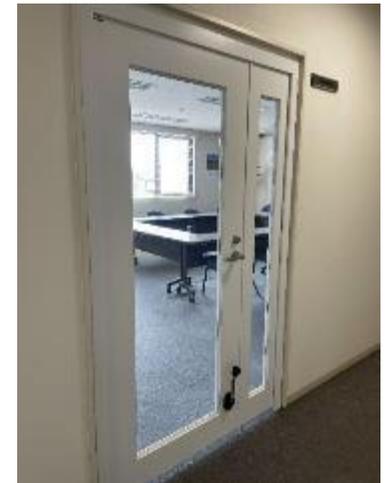


# ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

## 今月のTOPICS

# ●サンシン電気(株)本社のリニューアル工事を行いました！

このたび、「とにかく明るい職場プロジェクト」による本社オフィスのリニューアル工事が完了いたしました！  
働きやすさと生産性の向上、そしてご来訪時の快適さを追求した空間に生まれ変わっています。  
お近くにお越しの際は、ぜひお気軽にお立ち寄りください。



# 活動報告

- ①地域貢献活動
- ②ワーク・ライフ・バランスへの取り組み
- ③人財育成への取り組み

# 地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（4月参加人数：延べ4名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、中国、マレーシア）
- 近隣の小中学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入（ミタスライフ）
- 飼い主のプロを育てる「ドッグライフアカデミー」を創設（ミタスライフ）

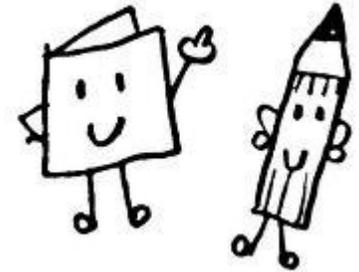


# ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

- 育児休業中も休業前のほぼ半額の給与支給。行政と併せてほぼ全額受給可能（累計実績5名）
- 育児短時間勤務中も、通常と同額の給与支給（累計実績6名）
- こども手当の支給（中学生未満）
- ご家族の急な病気やご家庭の事情、社会情勢に合わせて、在宅勤務又はテレワークが可能
- リフレッシュ勤務制度（勤務間インターバル制度）の導入
- 時間単位の有給休暇取得制度の導入
- 年2回実施の人事考課にて、ご両親または20歳以下の子供を扶養している社員への加点実施
- 勤続表彰者への特別休暇の付与及び記念品を贈呈
- 毎年1回、全社員対象に健康診断を会社負担で実施
- 東京都の「感染症対応力向上PJT」に参加し、コースⅠ（感染症理解のための従業者研修）達成（2016年1月）、コースⅡ（感染症BCPの策定）達成（2017年12月）⇒2020年8月「感染症BCP」を新型コロナウイルス感染予防対策も含め更新！
- 全国健康保険協会東京支部より「健康優良企業・銀の認定証」取得（2024年5月更新）⇒8年連続！
- 経済産業省・日本健康会議より「健康経営優良法人2021（中小規模法人部門）」の認定取得（2017年～2021年）
- 東京都より「スポーツ推進企業」、スポーツ庁より「スポーツエールカンパニー」の認定4年連続取得（2017年～2020年）
- メンタルヘルスケアの一環として従業員用オンライン相談フォームを設置（海外拠点からも投稿可能、匿名でも投稿可能、秘密厳守）

# 人財育成への取り組み

- ▶ 社内にサンシン大学（SSU）を設置。経営・法務・税務・情報セキュリティ・新製品紹介・ビジネス英会話・健康促進法・eラーニング等の講義を開講（World-wideでSkype配信実施。就業時間内に開講。会社が費用負担）
- ▶ サンシン大学への出席実績は、年2回の人事考課で加点対象
- ▶ EIGYOプログラムによる育成制度を整備しスキルアップを支援
- ▶ 自己啓発支援制度により、MBA/MOT取得や資格取得を積極的に支援
- ▶ 簿記、ビジネス実務法務検定、TOEIC・英検、QC検定等の取得により職能給UP
- ▶ 他社での技術研修、経理実務研修等を実施
- ▶ 年に1度、好業績を残した社員に対して社員表彰を実施
- ▶ “情報共有システム（Intelligence Shared Systems）”の活用により、日々PDCAP’を全社で共有し、TOP MANAGEMENTとの直接のコミュニケーションが可能
- ▶ 一般社団法人ICTマネジメント研究会による「学生懸賞論文」の実施（毎年開催）



# サンシングループの経営理念とCSR

We love our customers,  
We're loved by our customers,  
Always be a Virtuous Merchant  
to contribute to Cultures and  
Civilizations around the World.

サンシングループのCSRは、経営理念を全役員・全従業員が共有し、100%のコンプライアンスを大前提として、企業活動の中で経営理念を実践していくことです。

コンプライアンスの基礎となる品質マネジメント・マニュアル及び環境マネジメント・マニュアルを策定・導入し、サステナブルな企業として永続的に電機業界及び社会の発展に貢献して参ります。また、ステイクホルダーとの信頼関係の構築を通して、社会の公器として企業の社会的責任（CSR）を果たして参ります。

# 経営戦略体系と管理会計のかかわり



# サンシングループの社会的責任

サンシングループは、企業はステイクホルダーをはじめとする社会全体と共存して繁栄し、社会的責務を伴う存在であると考え、以下の取組みを実施しています。

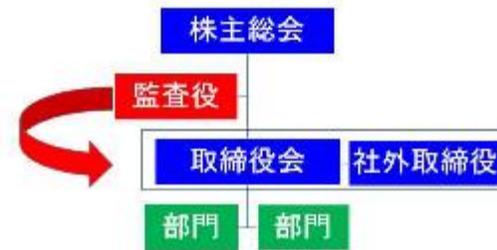
## ■ コーポレートガバナンス

経営者がコンプライアンスに準じた行動をしているか、コーポレートガバナンスにより、内部の業務監査を行っています。

## ■ CSR及び環境経営（ESG）

サンシングループではCSRに環境経営、品質保証、危機管理などの要素を含め、ホームページで活動内容を発信しています。特に環境経営はISOなどの環境マネジメントシステム（EMS）と連携した活動を実施しています。

コーポレートガバナンスと機関の役割



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、13ページ。

CSRの基本的要素



CSRの新たな要素



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、14-16ページ。

# サンシングループの企業行動基準

サンシングループの倫理法令遵守企業行動基準は、「経営理念」を実践するために、企業倫理とコンプライアンスの観点から、基本的な姿勢を以下の通り定めています。

1. 私たちは、常に社会人としての自覚を持ち、高い倫理観に基づき、社会的良識に従って行動します。
2. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、関係法令および社内規定はもとより、利害関係者と取り交わした契約や約束を常に遵守し、全ての企業活動が正常な商慣習と企業倫理に適合したものになるよう努めます。
3. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、全ての人の基本的人権と個性を尊重し、オープンなコミュニケーションに努めます。
4. 私たちは、全ての利害関係者に対し、誠実に接するとともに、公平・公正かつ透明な関係を維持し、フェアな取引を行います。
5. 私たちは、会社の正当な利益に反する行為や会社の信用・名誉を損ねる行為を一切行いません。

# サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループは、経営戦略達成のため、「アカウントティング・システム（財務的：定量的管理）」と「コントロール・システム（非財務的：定性的管理）」という2つのシステムから成るマネジメント・コントロール・システムズを導入しています。

このマネジメント・コントロール・システムズの「コントロール・システム」の基軸となるものとして、当グループ独自の品質マネジメント・マニュアルがあります。この品質マネジメント・マニュアルに基づき、ISO9000シリーズに準拠した品質方針、および環境マネジメント・マニュアルに基づき、ISO14001やエコステージなどの環境方針を策定しています。これらの方針に従い、コンプライアンス・品質・環境・地域貢献・人財育成等のCSR活動に努めています。



# サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループでは、形式知化された業務をルール化し、業務フローと業務マニュアルを策定しています。

## ■ マネジメント・システム

マネジメント・システムにより業務を標準化し、企業活動に安定した品質をもたらしています。

## ■ 5W2HとPDCA→P' サイクル

PDCA→P' サイクルは計画策定のPlan、計画を実行するDo、計画と実行の差異を評価するCheck、評価から修正と改善を行い次のPlan(P')につなげるActionから構成されます。サンシングループでは情報共有システムなどを活用して、5W2Hを明示し、プロセスの進捗を可視化/共有しています。

マネジメントシステムの基本構成

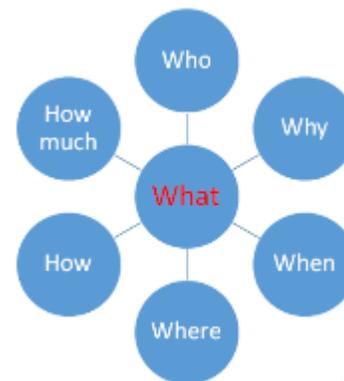


マネジメントシステムのレビュー



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、48ページ。

ビジネスの5W2H



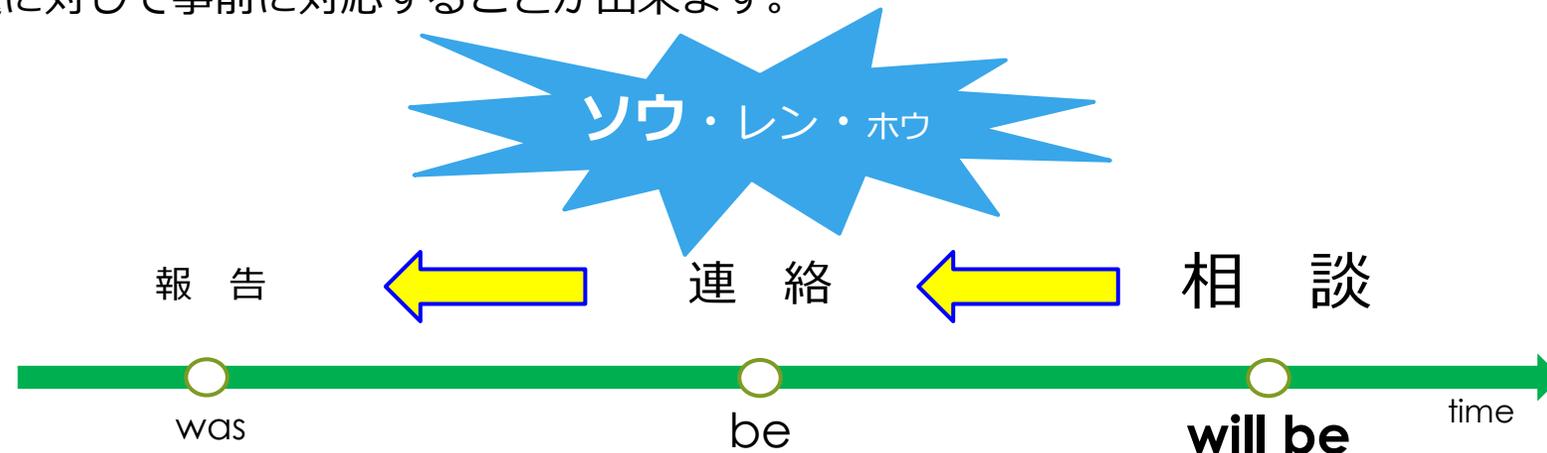
PDCA→P' サイクルの概念



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、42ページ。

# 未来形から問題を解決するソウレンホウ

サンシングループでは悪い問題は過去形になる前に潰すことが重要と考え、一般的に言われるハウレンソウ（報告・連絡・相談）ではなく、ソウレンホウ（相談・連絡・報告）を励行しています。ソウレンホウにより、過去形（報告）ではなく未来形（相談）と現在形（連絡）の情報を共有し、予測される問題に対して事前に対応することが出来ます。



出所：石井 宏宗[2011]『経営とは生きること -企業家に求められる3つの視点-』税務経理協会、166ページ。



編集  
後記

SSD, 営業管理課 Y.Y.

梅雨の季節が近づき、雨の日が増える中で、水の恵みとともに排水やごみの流出など環境への影響も気になります。日々の暮らしの中で、水資源の大切さや、街をきれいに保つ意識の重要性を改めて感じる季節です。